

令和5年（2023年）6月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（1日目）

令和5年6月16日（金）

割当時間（答弁を除く）
公明党 30分
ニライ 30分
自民党 25分

順位	氏名 （会派名）	発言事項	発言要旨
1	大城 幼子 （公明党）	1 物価高騰から市民生活を守る対策について 2 子育て支援について	（1）物価高騰の実態を伺う （2）「那覇市電力・ガス・食品等価格高騰重点支援給付金事業」について概要と取組を伺う （3）「令和5年度子育て世帯生活支援特別給付金事業」の進捗状況を伺う （4）水道基本料金の負担軽減について考えを伺う （5）LPガス利用者の利用料負担軽減について伺う （1）医療的ケア児支援について 「医療的ケア児支援法」が一昨年に施行され、沖縄県においても支援センターが今年度中に設置される ① 改めて同法の主旨を伺う ② 学校就業時の看護師配置の現状と取組を伺う ③ 県支援センターと本市がどう連携していくのか伺う （2）産後ケア事業について 平成30年にスタートした本市の産後ケア事業は5年目を迎え年々充実が図られているが、これまでの実績と最新の取組状況を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 乳児用ミルクの支援について
			① ミルクを購入できない世帯からの相談や問い合わせがどれくらいあるか。また、その世帯への支援の現状を伺う
			② 継続的にミルクを提供する支援体制づくりについて本市の見解を伺う
		3 教育行政について	教員の病休者数の改善を目指す文科省のモデル事業が、那覇市の教職員を対象に実施されることになった。「公立学校教員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業」について概要と意義を伺う
		4 女性支援について	(1) 国の総合経済対策の中で「リスクリング(学び直し)」の支援が注目されている。以下伺う ① リカレント教育との違いを伺う ② リスクリング支援について、本市の取組を伺う (2) 女性デジタル人材の育成について、具体的に本市で取り組めないか、代表質問や市議団施策要望において提案を重ねているが、検討状況を伺う (3) 「地域女性活躍推進交付金」を活用した寄り添い支援に取り組む考えがないか見解を伺う
		5 福祉行政について	(1) 「沖縄県こども調査」で高校生のいる世帯の26%が困窮しているとの県公表があった。本市の現状と講じる措置がないか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 性の多様性について 7 健康行政について	(2) 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が6月14日に今国会で成立した。本市の見解を伺う LGBT理解増進法案が6月9日に衆議院で可決され、今国会で成立する見通しである。本市の見解を伺う (1) 健康保険法の見直しにより、後期高齢者医療の保険料が引き上げられることになったが、改正の理由及び概要と本市における影響等を伺う (2) 带状疱疹予防ワクチン接種費用の一部を助成する考えがないか見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 （会 派 名）	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	幸 地 わかえ （公 明 党）	1 学校給食費 の無償化について	（１） 本市小中学校の学校給食費を無償化してほしいと要望していたが、その後の進捗について問う （２） 本市における私立中学校の学校給食費無償化について要望していたが、検討状況を問う
		2 公園行政について	今定例会提案の議案について、公園の使用料見直しに至る経緯と内容について問う
		3 環境行政について	今定例会提案の議案について、「那覇市省エネ家電買換え促進事業補助金」の目的と概要について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 コロナ感染症対応について 2 市民生活について 3 経済情勢について 4 本市の財政状況について 5 公共事業の見直しについて 6 水道行政について	(1) ５類移行後の感染状況と対応及び課題を問う (2) コロナ後遺症の状況と対応を問う (1) 生活困窮に関する市民相談の状況について問う (2) コロナ困窮者向け特例貸付の生活福祉資金の返済状況と対応について問う (1) 市内経済の状況と課題について問う (2) 人手不足の要因と対策について、見解を問う 本市の財政状況と今後の課題について問う 以下の公共事業の進捗状況と必要財源及び今後の見通しについて見解を問う (1) 都市計画道路整備事業 (2) 公園整備事業 (3) 市営住宅整備事業 (1) 次年度より水道行政が国交省・環境省の両省に移管されることについて見解を問う (2) 本市の水道施設老朽化の現状と対応について問う (3) 水道DXの概要と本市の見解について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 公園行政について	(1) 公園の指定管理者導入提案に至る経緯と内容を問う (2) パーク P F I 事業の進捗について問う
		8 港湾行政について	(1) 港湾計画改訂後の本市の取組状況と課題を問う (2) 那覇軍港移設に向けた取組状況と課題を問う
		9 水産行政について	(1) クロマグロの漁獲規制の影響を問う (2) 県漁連セリ機能移転後の泊漁港のセリ機能の状況と課題を問う (3) 泊漁港再整備事業の進捗状況を問う
		10 消防行政について	県の消防広域化推進計画の動向と本市の対応について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	平 良 識 子 (ニ ラ イ)	1 平和行政について	(１) 北朝鮮の「軍事偵察衛星」の発射に対し、国が沖縄県内に展開している地対空誘導弾パトリオット(P A C 3)について、県民の生命財産を守る観点から懸念が広がっている。市長の見解を伺う (２) 福州市友好都市事業について、台湾有事が沖縄で懸念の高まりがある中で、県都那覇市として、積極的な平和の自治体外交に取り組むことを求める。コロナ禍で滞っていた当該事業について、知念市政の今後の取組と見解について伺う
		2 文化行政について	(１) 首里城正殿の龍頭棟飾の復元を「壺屋焼」を主体に実現することについて、壺屋焼を本市の伝統的工芸品として継承発展及び支援に取り組んできた那覇市として、壺屋陶器事業協同組合からの上記趣旨の陳情及び市議会での意見書採択を踏まえ、当局として県及び国に積極的に働きかけるべきである。対応を伺う (２) 那覇市所有の国宝「琉球国王尚家関係資料」について、県が整備に向けて取り組む中城御殿敷地内における展示について、どのように取り組んでいるのか伺う
		3 ごみ収集事業について	本市のごみ収集を委託契約している業者３社より、特に人件費の増額を度々要請されているが、今年度の委託料の概要について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	山 田 マドカ (ニ ラ イ)	1 観光行政について 2 公園行政について 3 子どもの居場所事業について 4 難病児ケアについて 5 妊産婦支援について 6 水道行政について	(1) 都市型M I C E設置の可能性と内容について伺う (2) 県外から観光や仕事などで訪れた際、乳幼児などの一時保育を希望した場合の本市の対応について伺う (1) 公園施設（バスケットゴール）の設置状況について伺う (2) パークP F I 事業の取組について伺う (1) 銘苅・真嘉比地域における子ども食堂・児童館の数について伺う (2) 学習支援を行なっている居場所数と不足している地域課題について伺う (3) 子ども食堂、居場所事業の予算が足りているという認識であるのか伺う (1) 難病児・小児慢性特定疾病を抱える件数について伺う (2) 難病児の一時預け先について伺う (3) きょうだい児の精神的ケアについて伺う (1) 若年妊産婦の居場所事業について伺う (2) 産後ケア事業について伺う (1) 本市の水道水に含まれるP F O S、P F O Aの基準値について伺う (2) 現在基準値を超えて検出されているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 いのちの安全教育について	(1) 文部科学省が進めている「いのちの安全教育」について本市の取組状況について伺う (2) CAP事業の導入について伺う
		8 教育行政について	(1) 教員のメンタルヘルスケアについて以下伺う ① 2023年5月25日の新聞報道にて教員の働き方改革に向けた「教員負担軽減タスクフォース」を立ち上げ、全庁体制で取り組むとあった市独自の取組について伺う ② 2022年度における本市の精神疾患による休職者数を伺う (2) GIGAスクールについて ① GIGAスクールによる学習面の効果について伺う ② 児童生徒のタブレットの使用頻度について伺う (3) 経済に関する教育・キャリア教育について ① 本市の経済に関する教育について伺う ② 公立の学校教育にてお金の運用や投資型の学習について子ども達に無償でプログラムを提供しているジュニア・アチーブメントの取組を本市でも出来ないか伺う
		9 起業家育成について	福岡市で行われているスタートアップカフェでは起業に興味のある方向けに疑問解決から開業までのサポートを行なっている。本市での起業家育成の取組について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 行政改革について	(1) チャットGPTなど、AIの活用に対する那覇市の考えを伺う (2) Timewitchなど、時差を活用した仕事の活用について伺う (3) 放送法に関する国会の一連のやり取りの中で、自公政権は自らの行政文書について、正確性が定かではないと首相自ら発言し報じられている。那覇市の行政文書においても、このような定かでない文書があるのか伺う (4) 沖縄振興予算のうちの国直轄分を除く地方向けの総額について、自公政権下で減少を続けていることをどう捉えるのか伺う (5) ふるさと納税について、納められた税金と流出した税金、かかる経費などを踏まえた那覇市の収支状況を伺う (6) インボイス登録の那覇市の現状を伺う (7) マイナンバーの不具合が続くこともありデジタル強制を促す一環ともいえる保険証の廃止を見直し、存続を求める要請を立憲民主党などが行っているが、那覇市の考えを伺う (8) 入管難民法の改正が政府により進められているが、実情を踏まえた那覇市の考えを伺う (9) 自公政権の斎藤法相は同性婚の法制化について、国民的コンセンサスが形成されてきたという実感は無いと述べ、報じられている。レインボーなは宣言をはじめとした那覇市の取組と、真っ向から対立する発言だが、那覇市の考えを伺う (10) 自公政権が語る異次元の少子化対策で、那覇市民にどのような事業が展開されるのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 地域行政について	(1) 旧牧志公設市場衣料部・雑貨部の売却経緯と情報公開状況について伺う (2) 食中毒が発生した際の確認方法と対応、また苦情や指摘が出ていないのかについて伺う
		3 新型コロナについて	(1) ホテル療養者への食事支援の実績を伺う (2) 自宅療養者への那覇市からの食事支援の実態を伺う
		4 安全保障、防災行政について	(1) 公共交通に災害時の出欠を委ねるのは、行政の責任回避ではないか伺う (2) 那覇市が影響を受ける、米軍の空域および水域はどこがあるのか伺う (3) いわゆる那覇軍港の現有機能は何であると那覇市は捉えているのか具体的に伺う (4) 沖縄の基地負担に対し、エマニュエル駐日米大使が負担ではなく責任だと発言し報じられている。那覇市も同様に考えるのか伺う (5) Jアラートへの正しい対応を伺う (6) リチウム電池を廃棄する取組について、那覇市の状況を伺う
		5 交通行政について	(1) ゆいレールについて、オキカが他県で利用されている交通系 I C と相互利用されたがオキカの導入事業費と年間運営費を伺う (2) 那覇市が L R T の計画を議論し始めて何年が経過したのか伺う (3) バス停について、分かりにくい、混同しやすいなどの名称を把握しているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(4) レンタサイクルについて、ヘルメット着用への取組を伺う (5) 電動キックボードの規制緩和と課題について、事故対応や交通違反の増加懸念に対する那覇市の取組を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	花 城 典 史 (自 民 党)	1 放課後児童 健全育成事業 について 2 教育行政に ついて 3 まちづくり と沖縄振興に ついて 4 国民保護に ついて	(1) 行政当局と学童事業者との連携について 伺う (2) 学童利用者と行政当局・学童事業者とのコ ミュニケーションについて伺う (3) 当局（こども政策課）の体制や人員配置に ついて伺う (4) 学童事業者支援について伺う (1) 教員の多忙化について伺う (2) 「公立学校教員のメンタルヘルス対策に関 する調査研究事業」について伺う (3) 文科省で示された学校や教師が担う業務 についての３つのカテゴリ分けについて、本 市の認識を伺う (4) 学校給食費無償化について、県の動向を伺う 本市としては、今後どのような沖縄振興予算・ 政策を望むか (1) 本年５月２９日、北朝鮮から海上保安庁に 「人工衛星」を打ち上げると通報があった。 これを受け「政府は、２０１６年のケースと同様 に、沖縄県内の上空を通過する可能性がある と分析している」との報道もあり、警戒が強 まっていた。このような中、５月３１日、北 朝鮮当局は軍事偵察衛星の運搬ロケット発 射を強行した。同ロケットは発射後に異常が 生じ、あろうことか海に墜落した。不幸中の 幸いで、残骸が船舶に落下する等の人的被害 こそ免れたものの、このように沖縄県内上空 を通過する可能性のあったロケットが、失敗 により落下したという事案について、その落

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			下地点がもしも県内・市内であったならば、大惨事が発生していたことになる。衛星と称していたとしても弾道ミサイル技術を用いた発射は国連安全保障理事会決議違反であると同時に、国民の安全に関わる重大な問題である。市民・県民・国民・観光客の安全安心を脅かし、不安に陥れた北朝鮮当局の暴挙による本市への影響を問う (2) 本年1月、那覇市は弾道ミサイルを想定した国民保護避難訓練を実施したが、その結果と今後の取組について問う (3) 過去には、平成28年2月7日、北朝鮮から「人工衛星」と称する弾道ミサイルが発射され、その推進装置とみられる物体が沖縄地方上空を通過した。時を経て、今回も北朝鮮はロケットを発射し、それが失敗したとして2回目の打ち上げを可及的速やかに行うと表明している。このような中、今月12日の報道には「北朝鮮のミサイル発射場で、次の発射につながる新たな動きが見られる」との記事もあり、これらをふまえると、再び沖縄が危険に晒される可能性が生じている。これに関連して、那覇市国民保護計画をふまえた本市の今後の対応と取組を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	屋 良 栄 作 (自 民 党)	1 アフターコロナの中小企業支援について 2 国連機関の誘致について	(1) コロナ禍において、多くの県内・市内事業者が沖縄振興開発金融公庫の新型コロナ関連融資や民間金融機関からゼロゼロ融資を受けているが、深刻な電気料金などの物価高騰や人手不足の中、元金の返済や利子の支払いが始まることで、経営が行き詰まり廃業や倒産が増えるのではないかと危惧される。現状はどうなっているか伺う (2) 本市として、本市の事業者に対し、少なくとも景気がコロナ前の水準になるまでは、アフターコロナ支援策を講じ、できる支援はしていくべきと考えるが、見解を伺う (3) 本市は予算規模に比して、商工費が少ないとの苦言をよく聞く。経済が活性化することで本市の収入が増えることに鑑みれば、アフターコロナ反転攻勢のための商工費の増額や商工施策の拡充などが望まれるが、見解を伺う (4) ３年余に及ぶコロナ禍の間で、本市が行ってきた経済分野におけるコロナ支援策などについて、当事者・関係者からよく話を聞いて、しっかりと丁寧に総括することが必要であると考えます。そうすることで次回また同様のパンデミックなどが起こった時、役に立つはずである。見解を伺う (1) 国連機関の誘致は知念市長の選挙公約であり、市長は地元紙の本年新春インタビューの中で「一番の防衛策は国連機関」と述べているが、その真意について、市長の考えるところ、思いについて伺う (2) 国連機関の中には、国連教育科学文化機関（ユネスコ、本部 ウィーン）など色々あるが、誘致を目指す意中の機関は何か伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 例えば仮に、国連大学(本部 東京)の研究所を誘致する考えならば、沖縄国際海洋博覧会(e x p o' 75)を開催した実績を有する沖縄県において、海洋開発や海洋エネルギー資源の平和利用に関するテーマなら、アドバンテージがあると思料される。見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（１日目） 令和５年６月１６日（金）

順位	氏 名 （会 派 名）	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	金 城 直 子 （自 民 党）	こども家庭行政について	（１） 産後ケアに関する取組をさらに充実させるべきである。本市における産後ケア事業の現状と課題について伺う （２） こども家庭庁が関連する政策について、本市においてもさらに力を入れて推進すべきである。そのためにも、全ての妊産婦、子育て世帯及び子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関となる「こども家庭センター」設置に向けた取組状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長